

スタイリー面格子SA型

取付け説明書

■施工される方へのお願い

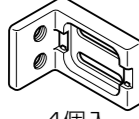
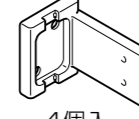
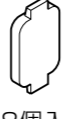

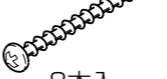

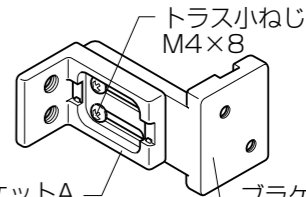
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

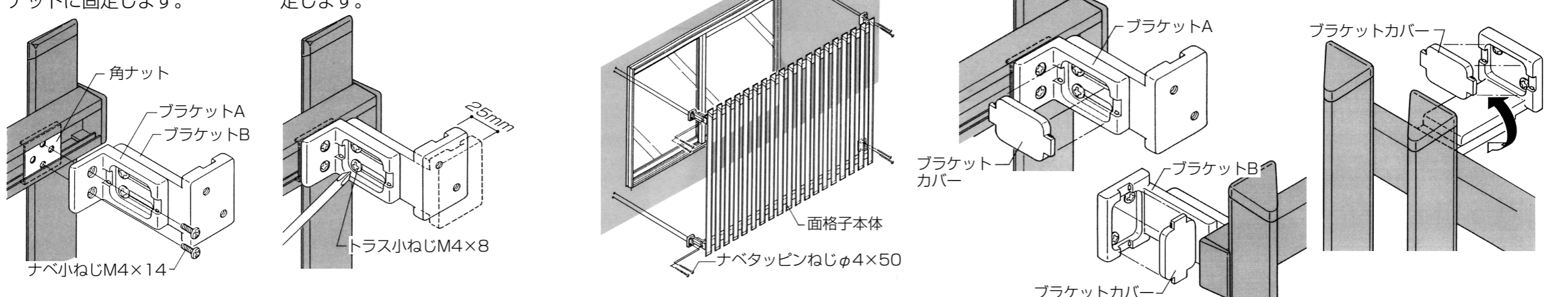
- 当製品の落下・転落防止のため、下記事項をお守りください。
- 当製品は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
- 当製品は、木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- 取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁厚を建築図面で確認してください。
- 外壁厚が30mm以上の場合は、必ず厚壁用のねじを使用してください。
- 強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・角ナット・ねじ類を指定の数量使用してください。
- 外壁のガイド穴は、柱まであけないでください。
- 取付けは必ず指定のねじを使用し、外壁だけでなく必ず柱等の躯体にねじ止めしてください。
- 下穴（躯体側）は、φ3mmのドリルを使用してください。
- 下穴（躯体側）には、必ずコーキング材を充填してください。コーキング材を充填しないと漏水の原因になります。

■部品一覧

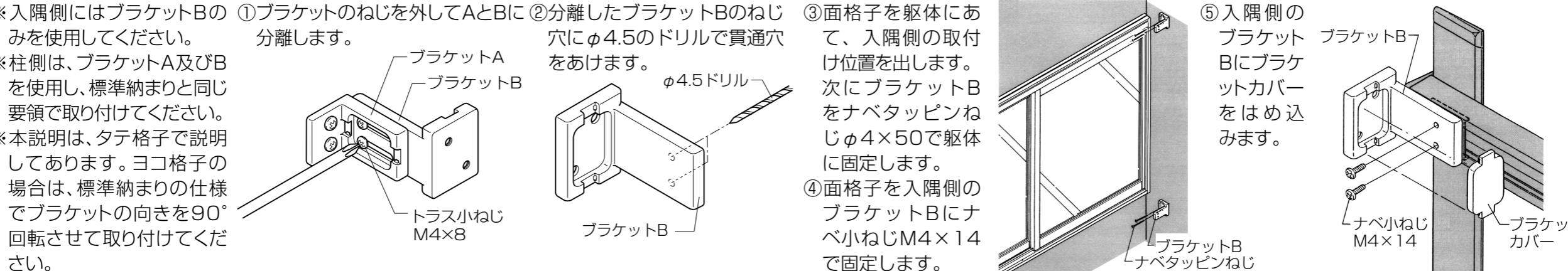
ブラケットA	ブラケットB	ブラケットカバー	ナベ小ねじM4×14	ナベタッピンねじ(1種) φ4×50	トラス小ねじM4×8	
						※ブラケットAとBは、トラス小ねじで一体にして梱包されています。
4個入	4個入	8個入	8本入	8本入	8本入	

■取付け順序

【標準納まり】

- ①一体にしたブラケットA・Bを図のように、ナベ小ねじM4×14で面格子本体の角ナットに固定します。
 - ②ブラケットAとBを固定しているトラスねじをゆるめて、躯体との出幅を調整し、再び固定します。
 - ③面格子の取付け位置を決め、ナベタッピンねじφ4×50で躯体に取り付けます。
 - ④ブラケットA・Bのそれぞれに、ブラケットカバーをはめ込みます。(カバーはA・B共通です。)
- ※躯体にブラケットが止めにくい場合は、ブラケットを90°回転させて取り付けてください。
- 

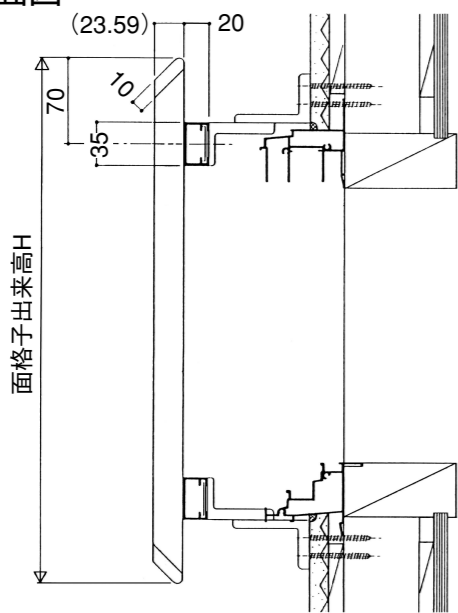
【入隅納まり】

- ※入隅側にはブラケットBのみを使用してください。
 ※柱側は、ブラケットA及びBを使用し、標準納まりと同じ要領で取り付けてください。
 ※本説明は、タテ格子で説明してあります。ヨコ格子の場合は、標準納まりの仕様でブラケットの向きを90°回転させて取り付けてください。
- ①ブラケットのねじを外してAとBに分離します。
 - ②分離したブラケットBのねじにφ4.5のドリルで貫通穴をあけます。
 - ③面格子を躯体にあて、入隅側の取付け位置を出します。次にブラケットBをナベタッピンねじφ4×50で躯体に固定します。
 - ④面格子を入隅側のブラケットBにナベ小ねじM4×14で固定します。
 - ⑤入隅側のブラケットBにブラケットカバーをはめ込みます。
- 

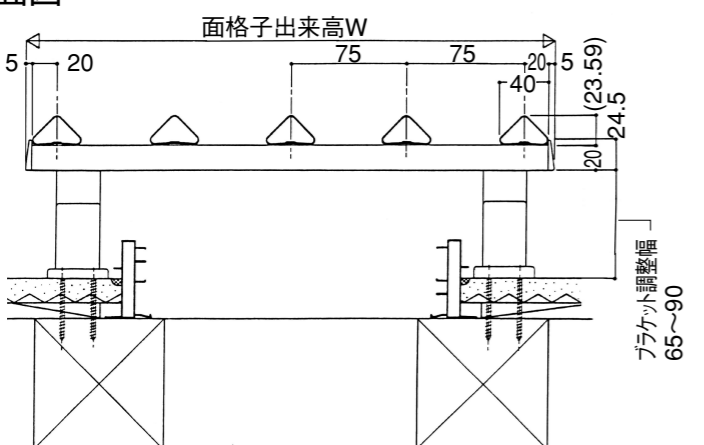
■参考納まり図

■標準納まり [タテ格子タイプ]

●縦断面図

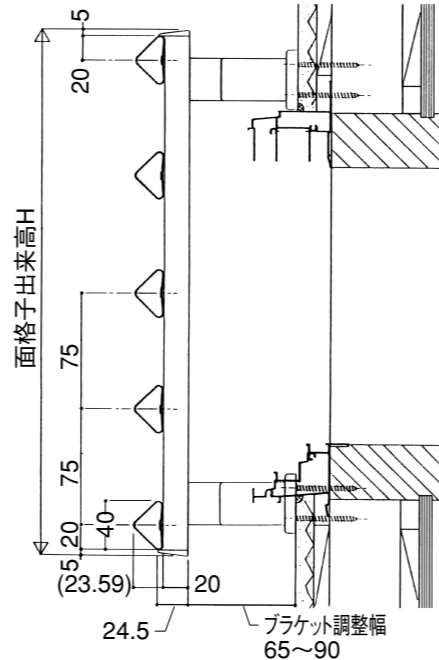


●横断面図

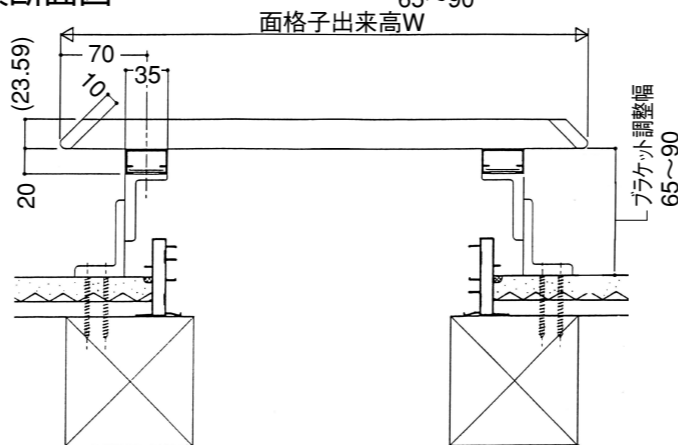


■標準納まり [ヨコ格子タイプ]

●縦断面図



●横断面図



■入隅納まり

●横断面図

